

第64回帯広市PTA連合会研究大会開催にあたって

帯広市PTA連合会

会長 谷保 寿彦

令和2年度 第64回帯広市PTA連合会研究大会開催にあたり、平素より各学校PTA会員の皆様には通常の活動に加え本会へのご支援、ご協力を頂いておりますこと心より厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の本年度ではございますが、帯広市PTA連合会では昨年度より遂行しております“10年ビジョン「OBI-P STYLE」”をもとに、再編された各部の活動内容の精査、各校のPTA会長が集う会長情報交流会の実施、また各学校代表者1名が議決権を行使する新形態での総会実施、等を行ってまいりました。残念ながら総会は書面開催、役員研修会の中止、部会の未開催など対面の機会は激減しておりますが、各校のPTA活動を下支えするのが当連合会の役割であります、年度も半ばを過ぎましたが可能な限り各校の活動を応援させて頂きたいと思っております。

連合会として出来る応援の形としまして、私は『情報の共有』『伝達方法の改善』が重要と考えております。今年度はコロナ禍となり、各校の会長・役員の皆様との連絡手段が難しいものとなりました、また先日の会長情報交流会におきましても情報を必要とされるご意見を多数頂きました。次年度以降、例えコロナ禍が終息に向かう状況下になった場合におきましても、①連合会の情報を各学校に速やかに伝える②連合会へのご意見等を速やかに頂戴する、以上2点を安全かつ恒久的に可能とするべく、様々な手法を連合会として模索して行きたいと考えます。

今回の研究大会開催にあたりましても、如何に全会員様へこのコロナ禍の中で学びを提供できるだろうか、という難しい条件下での企画スタートとなりました。開催断念、参加人数制限、書面のみでの開催・・・様々なケースを想定しながら、それでも何か連合会として出来ることは無いだろうか？という強い想いを基に、なんとかリモート開催まで漕ぎ着けることが出来ました。こんな状況下であるからこそ、普遍的な課題～今日的な課題まで、改めて親も先生も皆で学べる機会として頂けるのであれば幸いです。

最後になりますが、開催にあたりご協力賜りました各講師の皆様、そして子育て教育部役員の皆様に感謝申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

これからも帯広市PTA連合会へのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。